

## 令和3年度学校経営計画

### 1 学校教育目標

- (1) 学ぶことの厳しさや楽しさを通して優れた知性を養い、生徒の個性・能力を伸張する。
- (2) 風雪に耐えて生きぬく、強くたくましい体力・気力を培う。
- (3) 学校のみならず、社会の一員としての責任感や連帯意識を培い、心豊かな人間としての生活を営む能力を育てる。

### 2 学校の特徴

- (1) 置県百年にあたる昭和58年4月、21世紀を展望した新しい高校教育の創造を目指して開校した普通科単独校であり、体育コースを設置している。
- (2) 校訓「心を極め、道を拓く」を掲げ、「考える人間」「たくましい人間」「あたたかい人間」の育成を教育方針として、生徒と教職員が心をつにし、豊かな学校生活と輝かしい校風・伝統を築いている。
- (3) 部活動が盛んで、特に、サッカー部、フェンシング部、カヌー部等の活躍は、全国的にも高い評価を得ている。
- (4) 身だしなみや挨拶など学ぶにふさわしい校風を確立している。また、「総合的な学習・探究の時間」などを通して進路意識を向上させ、生徒一人一人が主体的に学ぶことで、資質や能力の育成を図っている。

### 3 学校の現状と課題

体育コースを設置する学校として、部活動も極めて盛んである。スポーツマンシップをもとに、活力に満ちたさわやかな校風を築いている。生徒のほとんどが4年制大学等への進学を希望しているが、学習と部活動の両立が本校生の大きな課題となっている。

学習活動では、昨年度始めた「授業改善」を一層進め、ICT機器の活用を促進しながら、生徒にとって分かりやすい授業、楽しい授業の実践に向けて努力し、生徒の主体性を伸ばし、思考力、判断力、表現力などこれからの社会で必要とされる資質・能力の育成に努めることが求められる。

本校は令和4年3月、県立高校再編に伴い、39年の歴史に幕を下ろすこととなる。そこで、在校生の教育活動、閉校式などの記念事業の実施など水橋高校に関わるすべての取組について、生徒、保護者、教職員、同窓会、後援会、相山奨学会などの学校関係者、地域の方々など、多くの人たちとともに進めてきた「水橋プロジェクト」を完成させたい。

また、水橋高校39年の伝統とスピリットを新高校へ継承する取組についても富山北部高校と引き続き連携しながら推進していきたい。

最後の卒業生が無事巣立っていくまで、学校関係者の皆さんの知恵と力をお借りして、これまで実施してきたことを一層充実させるとともに、様々な問題に柔軟に対応して生徒の教育活動を最大限支援していきたい。

以上のことを踏まえ、次の3項目を重点課題として設定する。

- (1) 生徒たちの主体性の育成
- (2) 授業改善に努め、これからの社会で必要とされる資質・能力の育成
- (3) 閉校までの1年間で水橋高校に対する愛着と誇りの醸成